

鎌倉映画茶論【狼火は上海に揚る】

「カフェサンスーシ」映画鑑賞の集い
名作は何度見ても新たな発見と感動を与えてくれます



2月15日(木)
16時より無料上映

坂東妻三郎!

於：カフェサンスーシ
(鎌倉雪の下3-10-23
清泉小正門)
要予約 0467-23-7223

毎月第三木曜16時～感動の名画・永遠の名優と共にお過ごし下さい

～ 作品紹介 ～

1944年(昭和19年) 大映・中華電影 稲垣浩監督 92分

戦時中、中国汪兆銘政権との合弁映画会社「中華電影」と大映が組んで製作、明治維新で活躍した長州藩士高杉晋作が、文久2年(1862年)5月、藩命で幕府使節随行員として長崎から上海へ五代友厚らと渡航、当時の清国の実情を見聞、7月に帰国している史実を踏まえ、中国の内乱「太平天国の乱」の首班陳翼周と坂東妻三郎扮する高杉晋作が出会ったことにして、「英国を信用するな、ともに東亜のために戦おう」と呼び掛ける日中友好を謳った国策映画です。中国政府ではなく鎮圧された革命勢力を相手にする設定は不自然ですが、高杉晋作に扮する坂東妻三郎や中国人俳優の演技、上海の情景など興味深く、戦局が不利となる中で反日感情を和らげようとした映画人の苦心の作品。1999年ロシアでフィルムが発見(冒頭の一巻が欠落して字幕説明で補足)、日中戦争の一面を伝える貴重な映像(未DVD化)と言えるでしょう!